

3 Mac OS版 セットアップガイド RHD-EX/UXシリーズ

M-MANU200454-01

本書は、RHD-EXとRHD-UXシリーズ共通となっております。RHD-EXをお使いの場合は、前もってカートリッジ(RHDシリーズ)を取り付けてから本書をお読みください。
取り付け方は、②Windows版 セットアップガイドの裏面の[カートリッジ(ハードディスク)の取り付け・取り外しについて]をご覧ください。

使えるようにする

1 OSを起動します。 まだ本製品を接続しないでください。
本製品は手順4になってから接続します。

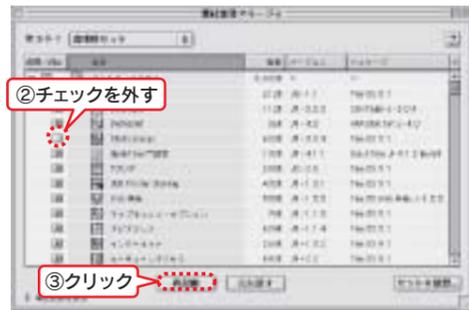
2 本製品以外の機器をできるだけ取り外します。

3 下の作業を行います。

Mac OS 9 の場合

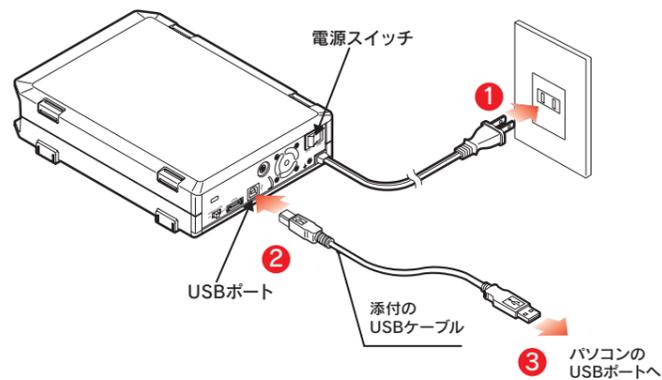
- 1 「機能拡張マネージャ」を開きます。
Apple → [コントロールパネル] → [機能拡張マネージャ] をクリックします。
- 2 [File Exchange] を無効にします([X]を外す)。
- 3 [再起動] ボタンをクリックします。Mac OSが再起動します。

(Mac OS 9の[機能拡張マネージャ]画面)



4 パソコンに接続します。

USBケーブルでパソコンと接続する場合



- 1 電源ケーブルをコンセントに接続します。
- 2 USBケーブルを本製品のUSBポートに接続します。
- 3 USBケーブルをパソコンのUSBポートに接続します。
※本製品の電源/アクセス(POWER/ACCESS)ランプが青色に点灯します。

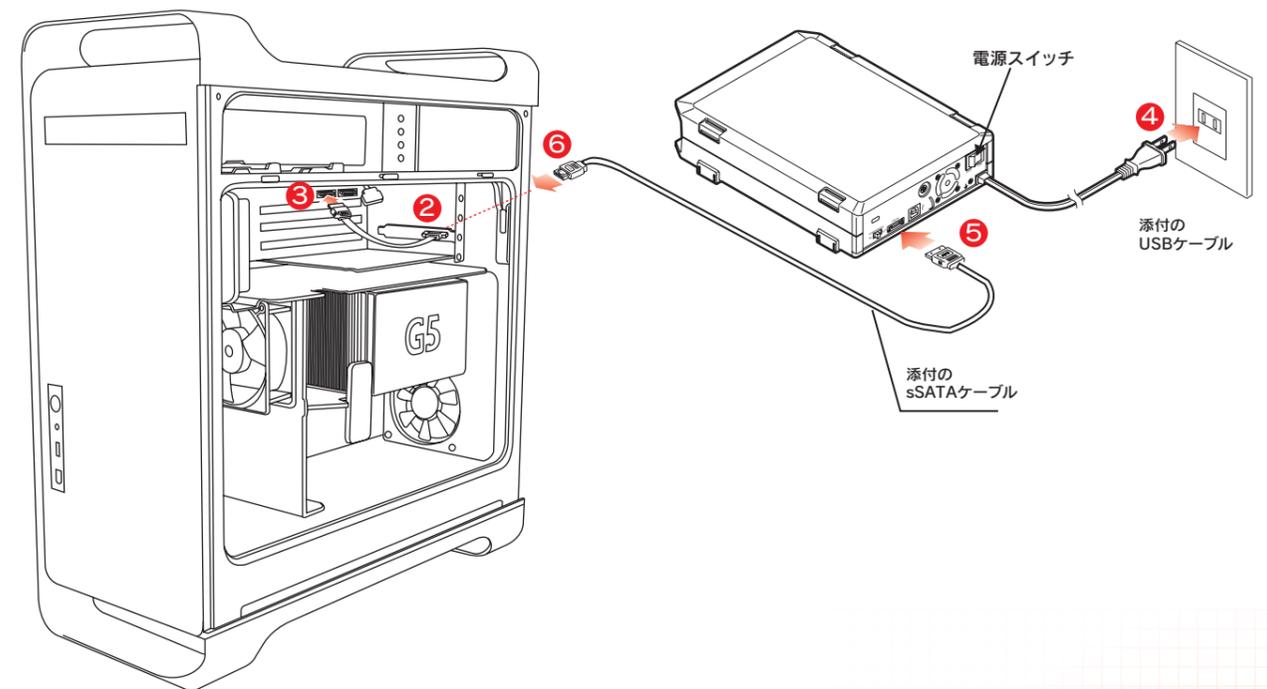
注意 ●コネクタの向きにご注意
コネクタは接続できる向きが決まっています。接続しにくい時は無理をせずに、コネクタの向きをご確認ください。誤った向きで無理に接続しようとすると、ケーブルやポートが破損するおそれがあります。

eSATAケーブルでパソコンと接続する場合

- 1 パソコンの電源を切ります。
- 2 eSATAブラケットをパソコンのPCIスロットに挿入します。
- 3 eSATAブラケットのケーブルをパソコンのSATAポートに接続します。
- 4 電源ケーブルをコンセントに接続します。
- 5 eSATAケーブルを本製品のeSATAポートに接続します。
- 6 eSATAケーブルをパソコンのeSATAブラケットに接続します。
- 7 パソコンの電源を入れます。
- 8 ディスクユーティリティで本製品を選択して、「ファイル」-「ボリュームをマウントする」をクリックします。



⑨ デスクトップ上にアイコンが表示されます。



5 初期化します。

Mac OS X 10.4

本製品をご購入時、フォーマット済み(1パーティション、FAT32)です。そのままご使用いただけますが、Mac OS Xのみでお使いの場合は、初期化(フォーマット)することをおすすめします。

- 初期化(フォーマット)する場合
Mac OS拡張(ジャーナリング)形式で初期化します。
詳しい手順は、画面で見るマニュアルの[Mac OS Xでの初期化]-[OS X 10.4の場合]を参照してください。
- ご購入時のまま(FAT32)でお使いになる場合
[Mac OS X 10.4 FAT32フォーマットでのご使用について]をご覧ください。

Mac OS X 10.1~10.3

- 1 「ディスクユーティリティ(Disk Utility)」を起動します。
[起動ボリューム] → [アプリケーション] → [ユーティリティ] → [ディスクユーティリティ] を開きます。
- 2 本製品(I-O DATA RHD-EX/UX Media)を選びます。
- 3 [パーティション] タブをクリックします。



※画面はMac OS X 10.3.3での例です。

- 4 初期化の設定を行います。
■ボリュームの方式: 1パーティション
■フォーマット: Mac OS拡張(ジャーナリング)
- 5 [パーティション(OK)]ボタンをクリックします。
- 6 [パーティション]ボタンをクリックします。
初期化が始まります。

参考 初期化後、以下の画面が表示される場合があります。[続ける]ボタンをクリックします。

※画面はMac OS X 10.3.3での例です。

この画面は表示されてからしばらく経つと消えてしまいます。消えた可能性がある場合は、一度パソコンに接続しているUSBケーブルを抜き差ししてください。

? こんな時には…

本製品が表示されない

- 本製品が表示されるまで時間がかかる場合があります。もう数分お待ちください。

Mac OS 9.1~9.2.2

- 1 右の画面が表示されます。
- 2 「名前」に本製品に付ける名前を入力します。
- 3 「フォーマット」を[Mac OS拡張]に設定します。
- 4 [初期化]ボタンをクリックします。
後は画面の指示に従ってください。
- 5 手順3を参考に「File Exchange」を有効にします([X] を付ける)。



6 確認します。

アイコンの確認

ハードディスクのアイコンが増えていることを確認します。

これが本製品のアイコンです



Mac OS X

Mac OS 9

参考 アイコンが表示されていない、ランプが点灯していない場合は、一度、パソコンに接続しているUSBケーブルを抜き差ししてみてください。

基本操作 ●本製品を使う上での操作について説明します。

【接続する】

本製品はいつでも接続することができます。表面、【使えるようにする】の「手順4パソコンに接続します。」を参照し、本製品を接続してください。

【取り外す】

- 1 本製品のボリュームをゴミ箱に捨てます。
- 2 本製品を取り外します。



Mac OS X 10.4 FAT32フォーマットでのご使用について

- 本製品の出荷時状態(FAT32フォーマット)でそのままご利用いただけますが、下記に注意してください。
 - FAT32フォーマットでご使用いただけるファイルサイズは約4GBまでです。
 - 本製品をマウントする際に時間がかかる場合があります。USB 2.0接続で数十秒かかる場合があります。
 - Mac OS X 10.4以外のMac OSでご使用いただく場合、FAT32フォーマットではご利用いただけません。
 - Mac OS Xのみでご使用いただく場合は、Mac OS拡張フォーマットでご使用いただくことをお勧めします。フォーマット手順は、サポートソフトに添付の画面で見るマニュアル[Mac OS Xでの初期化]-[OS X 10.4の場合]を参照ください。

画面で見るマニュアルについて

【困ったときには】などの情報があります。ぜひご覧ください。

- 1 サポートソフトを挿入します。自動的にサポートソフトの中身が表示されます。
※表示されない場合は[RHD_EXUxxxx]をダブルクリックして開いてください。
- 2 「manual.htm」を開いてください。

本製品使用上のご注意

- ケーブルを取り外すときは、ケーブル部分ではなくコネクタを持って取り外してください。
- ご利用の本体との組み合わせにより、スタンバイ、休止、スリープ、サスペンド、レジュームなどの省電力機能はご利用いただけません場合があります。
- 本製品にソフトウェアをインストールしないでください。
OS起動時に実行されるプログラムが見つからない等の理由により、ソフトウェア(ワープロソフト、ゲームソフトなど)が正常に利用できない場合があります。
- 他のUSB機器を使う場合は下記に注意してください。
 - 本製品の転送速度が遅くなることがあります。
 - 本製品をUSBハブに接続しても使えないことがあります。その場合は、パソコンのUSBポートに接続してください。
- 本製品からのOS起動はサポートされておりません。
- Mac OS(Mac OS X 10.4除く)とWindowsでは、フォーマット形式の違いにより併用することはできません。
- Mac OS Xでコピーする際は、ファイルシステムの違いに注意してください。
コピー元とコピー先でファイルシステムが異なると、エラーが発生する場合があります。
その場合は、ファイル名(文字や文字数)を変えてください。本製品を「Mac OS拡張」で初期化して使うことをおすすめします。
- 本製品は1パーティションで使用することをおすすめします。